

せ ん

ぼ 通信 No.77

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「避難」

3・11の震災・原発事故から10年…各地の「あの時…」「あれから…」が報道されてます。全国版の郡山市の記事～(抜粋)

「福島第一原発から60kmの郡山市役所。次々と原発が爆発、国が避難指示を出す目安の2倍の放射線量、毎時8・6マイクロシーベルトを記録。市民にも議会にも極秘で、子ども6千人を避難させる計画が急きょ練られた。避難先は、放射線量が低かった湖南地区。五つの廃校に、電気・水道を通し、プロパンガスを運び、子どもを運ぶバス60台を手配した。職員らで校庭の雪を払い、雑草を刈った。児童1～4年生だけで1万3千人ほど、廃校に避難できるのは6千人、市にできる限界だった。パニックを恐れて計画は公開せず、数千万円の予算は市長の専決処分とした。当時の市長・原氏は、2020年11月廃校を訪れ、『原発がさらに爆発したら、ここに避難させる計画でした。せめて温かい食事が出せるよう、調理室にプロパンガスを運びました。』

避難に至らず良かった上に、そういう計画があった事は、とてもありがたい事です。

「今度は、帰って来れない所へ行きます」。 えっ？(ドキッ) 「会社にもどり車中泊して、また出かけます」。 そういう事ね(ホッ) 働き盛りのMさんは、長距離のドライバーさん。

上越道のドカ雪での立ち往生のニュースに、「新潟に行きます」と言ってたなあ…と心配に。

「一日違いで大丈夫でした」と。東北道での多重事故のニュースには、「明日は、八戸へ…」と言ってたなあ…と、また心配に。

「通行止めで、下を走ってきたので11時間かかりました」と。良かった…良かった無事で…。Mさんの笑顔は、パパを待ってるおうちの皆さんの笑顔だよ…。

寒月夜切れぬ車列とねむる家

初めて作ってみた…切干し大根
スライスするのは、シュッシュッと、いい気持ち…。
けど、干しあがるまで、思っていた以上にかった。
朝晩出したり…ひっこめたり…まよったり…。
「もういいよ…後は冷蔵庫に入れてた方が…」と
言われるまで3週間ちょっと…。
大きな大根1本で、できあがり80gくらい。
種まき…草取り…収穫…冬場の保存…
そして、切干しや凍み大根にして長期保存。
家族の食卓にあがるまで、数え切れない手作業…
はかり知れない親心…があったのですね。
そして、一番寒い時期に、土間の炊事場で
作っていた、昔のばあちゃんや母ちゃん達。
その忍耐力もすごかったなあ…尊敬…。



いた
た
だ
つ
い
て
み
四
年
目
十
三
こ